

## 成果の説明書

(氏名) 永田 瞬	(学部) 経済学部
<b>1 重要事項</b>  (Ⅰ) 調査研究にかかわる概要 ・2017年度は同一価値労働同一賃金や職務評価に関する先行研究のレビューを行い、その到達点と課題を明らかにする作業に時間を要した。労務理論学会の全国大会の共通論題で報告し、『労務理論学会誌』に論文としてまとめた。 ・中小企業・中小業者の全国交流集会に参加し、岡山県のジーンズ産業の特徴と人材育成の課題について報告した。様々な業種の中小業者の声を直接聞くとともに、中小企業や地域経済に関する研究者の最新の研究成果を聞くことができた。報告内容の一部は、統計資料などを加筆して『中小商工業研究』誌に寄稿した。 ・高崎市製造業プロジェクトの第1弾が終了し、第2弾の準備を進めるべく、研究計画の策定やプロジェクトメンバーとの意見交換などを行った。高崎市製造業プロジェクトの第2弾(「地方都市における中小製造業の存立基盤に関する研究」)は、地域科学研究所のプロジェクトとして承認され、2018年度に開始される予定である。 ・在外研究のため2016年度に受け入れを停止していたゼミ活動を再開した。4年生は卒業論文の草稿を準備して、岐阜大学との合同ゼミ合宿に参加した。また例年と同じく、卒業論文の発表会を開催した。  (Ⅱ) 研究成果などの発表 口頭発表 「賃金格差と同一(価値)労働同一賃金論」法政大学大原社会問題研究所労働政策研究プロジェクト例会(法政大学・市ヶ谷キャンパス)、2017年5月20日。 「賃金管理の変容と総括」労務理論学会第27回全国大会(諏訪東京理科大学)、2017年6月11日。 「中小製造業の人材確保・育成について」第20回中小商工業全国研究交流集会第一分科会(愛知大学豊橋キャンパス)、2017年9月2日。 「森原康仁『アメリカIT産業のサービス化』日本経済評論社へのコメント」福祉国家構想研究会 若手基本構想部会(東京都文京区民センター)2017年9月22日。 「森原康仁『ソリューション・サービスの提供による超過利潤の獲得』へのコメント」経済理論学会第65回大会(中央大学多摩キャンパス)2017年10月29日。 「雇用の不安定化と最低賃金規制」第3回憲法大討論会～生活と憲法を語り合おう～(群馬県青少年会館)、2018年1月27日。  論文等 「賃金格差とジェンダー平等——同一(価値)労働同一賃金論の批判的検討——」労務理論学会編『労務理論学会誌』28号、2018年3月。 ※研究成果の詳細は <a href="https://researchmap.jp/s-nagata/">https://researchmap.jp/s-nagata/</a> を参照。	
<b>2 その他の事項</b>  ・地域科学研究所の公開講座(11月8日) ・群馬県立館林女子高校での出前講義(11月14日) で講演等を行った。	

### 3 次年度以降の計画・抱負

- ・外国人技能実習生やワーキングウェアの人事管理に関する研究成果の発表を準備する。また、繊維中小企業に関する人事・賃金管理の実態調査の準備を行う。
- ・学生が段階的に学びの主体となることができるゼミ運営を心がける。